

# WORKS

Empower&Energize

No147  
2022/01

## 2022年 新年のご挨拶

社会福祉法人 名東福祉会  
理事長 山田 達巳

新年あけましておめでとうございませ  
す。皆様におかれましては、新春を健やかに迎  
えられていることとお慶び申し上げます。昨  
年中は当法人の事業運営に多くの方々よりご  
協力いただき厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症対応と虐待防  
止を大きなテーマに事業を進めた一年でした。  
感染対応については、オミクロン株の市中感  
染も始まり、高まりつつある感染への不安の  
軽減、また、虐待防止に関しても、利用者、  
家族に安心して利用していただけるよう、今  
年も引き続きこの二点を重要課題として取り  
組んでいきたいと思っております。

新型コロナウイルス感染については、昨年七月  
に感染者が一名確認され、利用者はレジデ  
ンス日進・上ノ山ホームから一歩も出られ  
ない状況となりました。猛暑の中、職員もシャ  
ワーキャップにフェイスシールド、防護ガウ  
ンを

着用しての支援をおこない、なんとか新たな感  
染者を出さず二週間経過することができました。  
いつ感染してもおかしくない、いざ感染者が出  
るだろうと思いつつも、いざ現実に出るとな  
ると、これまでの経験したことに直面すると、  
これまでに経験したことがないような不安な  
状況に陥り、現場の支援員は言うまでもあり  
ません。看護師、栄養士、事務センター職員  
が「クラスターを発生させない」という思い  
で日々業務に取り組んで来たことに感謝して  
います。

また、日進市行政、特に健康福祉部の方々に  
は、感染者確認以降は保健所や保健センター  
に連絡を取っていただき、それ以前にも障  
害者支援施設職員のコロナワクチン優先接  
種においては、少しでも早く全職員が接種  
できるように配慮をいただきました。ふくしま  
ファミリー内科の福岡俊郎医師にはすぐに事  
業所に来ていただき、濃厚接触の可能性ある  
方にPCR検査をしていただきました。職員だ  
けでなく、地域の関係機関にもご協力いた  
だき、幸いにも感染拡大を防ぐことができました  
こと、心より感謝申し上げます。

大変なことではありましたが、貴重

な体験を踏まえ、新型コロナウイルス感染に  
関する事業継続計画の見直しをおこないまし  
た。この計画を少しづつ改訂しながら、より  
確かな感染対応を心がけていきたいと思  
います。



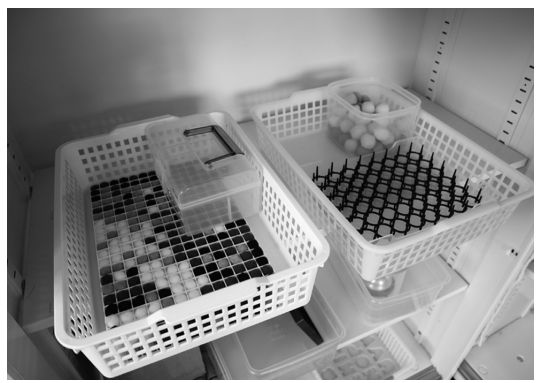
虐待防止の柱となる虐待防止委員会について  
ですが、令和四年度の設置に向けて、当法人  
の大野理事にこの会の取りまとめ役を担って  
いただき、準備会をスタートさせました。第一  
回目は事業所管理者のみの参加でしたが、二  
回目は副所長も参加しました。今後はサービ  
スマネジメント、看護師等に参加

行動障害のある自閉症者への対応には、イライラや怒りといった感情をコントロール  
するアンガーマネジメントも大切ですが、障害特性の理解が重要な意味を持  
ってきます。そのために、職員には少  
しずつ強度行動障害支援者の養成研修に参  
加してもらっています。この研修で、職員は様  
々なことを学んでくれるのですが、その中  
でも、彼らは「困った人」ではなく「困  
っている人」という説明が印象深く残  
っているようです。



枠を広げ、最終的には当事者および家族が参加  
できる体制を整えていく予定  
です。特に当事者の参加については極めて重要な  
項目であり、その選出方法も慎重に検討して  
いく必要があります。二回目の準備会において、  
一昨年のメイトゥ・ワークスでの虐待の件で、  
利用者にも聞き取りをおこなった際に、虐待  
そのものの理解がむずかしいこと、個別面談  
のような形式で尋ねられることへの戸惑い、  
虐待を思い出すことへの不安感などから十分  
な聞き取りができていなかったという意見が  
出ました。この経験を踏まえ、最初から虐待  
防止委員会に出席してコメント等を求めるよ  
りも、各事業所がおこなっている外出企画の  
行き先を出し合ったり、コーヒータムのデザ  
ートを考えたりする利用者ミーティングの中  
で、利用者が気になっていること、不安に思  
っていることを掘り起こしていく方向で進ん  
でいきます。

当法人に限らず、職員による虐待の対象となる  
可能性が高いのは行動障害のある自閉症者  
ではないかと思われ  
ます。職員は、利用者の終わらないこ



終わらないこ  
だわり行動、自傷・他傷をする「困  
った利用者」に対して、私たちは「困  
っている支援者」のつもりでいるので  
すが、本当に困っているのは支援者  
ではなく、利用者自身だということ  
です。当法人の職員に限ったこと  
かもしれませんが、この話を理解  
できるが納得するところまでには  
至っていないところがあるよう  
です。

しかしながら、現実として名東福祉  
会に求められる地域のニーズは「行  
動障害のある自閉症者」の事業所  
利用です。ただ、行動障害のある  
自閉症者に









## ご寄付ありがとうございます

令和3年4月1日～令和3年12月31日

### ◆メイトウ・ワークス

近藤 正俊 様 酒井 文雄 様

### ◆天白ワークス

青山 武司 様 加藤 真澄 様 北川 史郎 様 近藤 進子 様

時津登志枝 様 長井 淳 様 丹羽 文芳 様 水嶋 正直 様

水谷 義孝 様 村口 龍一 様

### ◆はまなす

今津 俊典 様 大伴 幸三 様 加藤 公英 様 木村 恵子 様

佐知美津子 様 杉原 活好 様 鈴木 和子 様 中井 昌誉 様

原田不二夫 様 藤井 淳子 様 藤田 忠弘 様 望月 正巳 様

菱島 厚 様 肆矢 弘光 様 山田 幸造 様

### ◆レジデンス日進

伊藤 和幸 様 北川 史郎 様 近藤 正俊 様 林 輝夫 様

原田不二夫 様 レジデンス日進家族会 様

### ◆上ノ山ホーム

伊藤 和幸 様 近藤 進子 様 上ノ山ホーム家族会 様

### ◆本部

神谷 光春 様 松田 妙子 様 片野 篤子 様

## 名東福祉会のホームページ

ホームページアドレス <http://www.meito.or.jp>



### ●社会福祉法人 名東福祉会

〒470-0124 日進市浅田町上納58-4  
TEL 052 (805) 1003 FAX 052 (805) 1004

### ●メイトウ・ワークス (生活介護)

〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊2-1303  
TEL 052 (702) 2864 FAX 052 (701) 2079

### ●天白ワークス (生活介護)

〒468-0023 名古屋市天白区御前場町327  
TEL 052 (804) 5487 FAX 052 (804) 5416

### ●はまなす (生活介護・相談支援)

〒465-0054 名古屋市名東区高針台1-911  
TEL 052 (704) 7551 FAX 052 (704) 7552

### ●レジデンス日進

(施設入所支援・短期入所・生活介護)  
〒470-0124 日進市浅田町上納58-4

TEL 052 (805) 1003 FAX 052 (805) 1004

### ●上ノ山ホーム (グループホーム)



← 『WORKS』バックナンバーはこちらから

ためにウォーキングに力を入れていき  
たいと考えています。



レクリエーション活動は、午後から  
の活動になります。月曜日は、陶芸担  
当の三上職員に教えてもらいながら陶  
芸を楽しんでいます。火曜日は、足湯  
と公園でスポーツ活動、水曜日は、換  
気をしながらカラオケ、月に一度、音  
楽療法士山本先生による音楽活動、木  
曜日は、はまなす玄関に飾る大きな貼  
り絵制作や好きな絵を描く創作活動、  
金曜日は、ビーチボールを使用したバ  
レーボール、ご近所をウォーキング、



バランスボールやマットを敷いて軽運  
動等の身体活動をおこなっています。  
その他にも、ソフトボール大会やフッ  
トベースボール大会もユニホームを着  
て楽しく参加しています。皆様が、楽  
しみながら、芸術やスポーツ、色々な  
活動を通して、自分の存在を表現でき  
るものを見つけていきたいと思ってい  
ます。

はまなす職員に関しては、虐待防止  
や強度行動障害、利用者様支援に必要  
な外部研修や、支援リーダーの仕事研

修会、施設環境コーディネーター研修、  
虐待防止委員会等法人内の研修を受け  
ることによって、職員一人ひとりがス  
キルアップを図れるようにしていきたい  
です。名東福祉会の職員一人ひとり  
が力をつけていくことにより、利用者  
の皆様へすばらしい支援が出来るよう  
になると信じております。名東福祉会  
を支える次世代の職員を育てていくこ  
とも重要だと考えています。安心して  
次世代の職員へバトンを渡せるように  
なるため、しっかりと人材教育、人材  
育成に力を注げる名東福祉会にしてい  
きたいです。

コロナ禍でコミュニケーションが不  
足していると感じております。お会い  
してお話する機会が減少しているので、  
今年は、何とかお話する機会を作って  
いきたいと考えています。コロナが収  
束するまでは、送迎時やお電話、書面  
でのやり取りが多くなると思われま  
す。その中でも、人と人は、ソーシャルディ  
スタンスですが、コミュニケーション  
は、密にしていきたいと考えています。  
皆様との対話を大切にしていきたいと  
思いますので、よろしくお願ひ申し上  
げます。

はまなすの今年の抱負につきまして  
は、利用者の皆様、ご家族の皆様、ポ  
ランティアの皆様、職員が健康で、安  
心して、楽しく充実した時間を過ごせ  
るようにしていきたいと思えます。一  
人ひとりの思いを大切にしていきたい、一  
人ひとりに合ったペースで活動ができ  
るようにしていきます。あと、利用者  
の皆様が強みや、得意なことを見つけ  
ていき、その強みや得意なこと、好き  
なことを活かしながら生き生きと生活  
できるようにしていきたいと思ってい  
ます。